

【2018年度(平成30年度)医学部業績集】

1. 医学部医学科教育

平成28年度入学生から、新カリキュラムで教育が行われており、3年次まで移行が進んだ。その骨子は以下の3点である。①講義時間の短縮：従来は一コマ90分であったが、60分に短縮した。全体の講義時間は5分の4程度にし、残った時間を自主学習やアクティブラーニングに充てる。また、学習効果を高めるため、同じ科目をまとめて学ぶブロック制を導入している。②臨床実習時間の充実：臨床実習と高次臨床実習を併せて18ヵ月間とし、従来比1.5倍にした。6か月の高次臨床実習は、1-2か月の海外実習を組み込み、希望者は外国の病院で実習することができる。③卒業試験の時期及び時間の変更：実習時間延長に伴い、卒業試験期間に数か月の時間を割くことが困難になった。そのため、平成30年の卒試は、6年生の4月と9月に、国家試験形式（2日間）で実施した。

(平成30年度 医学部長:永安 武、教務委員長:柳原克紀、学生委員長:迎 寛、
入試委員長:弦本敏行)

A. 教養教育

本学では、自ら学び、考え、主張し、行動する素養の涵養を目指し教養教育改革が進められている。課題となっているテーマのもとに集められた授業科目群の中から興味のあるモジュールを選び、主体的に学習し、そのテーマに関する多面的な見方、考え方を身につける。

B. 専門教育

医学教育の国際化を進めるために、コミュニケーション力を高める科目「Communication Skill in English」を、平成28年度から導入した。2018年度は海外からの渡航者が3000万人を超えるなど、外国人患者を診療する機会も増えることから、医師国家試験にも英語を読み解く問題が出題されている。英語でもある程度の診療ができることが将来は求められる。この科目は、疾患に関してディスカッションすることと英語でプレゼンテーションすることが特徴になっている。3年次のリサーチセミナーおよび6年次の高次臨床実習では、以前から外国の大学における実習が可能であったが、施設数および派遣学生の増加を進めている。2018年度は、ライデン大学（オランダ）、ビュルツブルグ大学（ドイツ）、ゴメリ大学・ベラルーシ大学（ベラルーシ）、アンジェ大学（フランス）、ナント大学（フランス）、トレント大学（イタリア）、ミシガン州立大学（米国）、ハーリム大学校（韓国）、プサン大学校（韓国）、慶尚大学校（韓国）、チュラロンコン大学（タイ）、シンガポール国立大学（シンガポール）に、リサーチセミナーでは、12名、高次臨床実習では、21名の計33名を派遣した。また、上記の大学等から、30名の学生を医学科として受け入れた。

新入生には「ようこそ先輩」という名前の導入講義を設け、教授陣に加えて、若手教員、卒後間もない医師ならびに5、6年生の学生が教えている。様々な立場の先輩からの講義を聞くことで、「具体的な医師像」をイメージでき、学習意欲の涵養に役立つものと期待される。

(文責:医学部医学科 教務委員長 柳原克紀)

表1 平成30年度 医学部医学科教員の教養教育への参画

A. 教養教育授業科目担当の医学部医学科教員

分野	授業科目名	担当教員
教養ゼミナール科目	初年次セミナー	原 哲也、舩越 康智、末吉 英純、吉村 俊祐、柴田 英貴、河野 浩章、安井 潔、桑原 宏永、三浦 清徳、日高 匡章、土肥 良一郎

【学部モジュール】

分野	授業科目名	担当教員
学部モジュール科目	医科生物学入門	永山 雄二、李 桃生、吉浦 孝一郎、小路 武彦、篠原 一之、由井 克之、森 望、蒔田 直昌
	医学史・原爆医学と長崎	高村 昇、山下 俊一、宮崎 泰司、中島 正洋、横田 賢一、宇佐 俊郎
	医学統計学	本多 正幸、岩永 正子
	Communication Skill in English	柳原 克紀、Luc Loosveldt、Jim Briganti、田中 邦彦、桑原 宏永

【全学モジュールⅠ科目】

モジュールテーマ名	授業科目名	担当教員
生体の機能・障がい・回復の科学 テーマ責任者： 北岡 隆	耳鼻咽喉領域における感覚・機能の障がいと回復	金子 賢一、原 稔、北岡 杏子、渡邊 毅
	運動器のしくみと機能障がいと回復	富田 雅人、米倉 暁彦、辻本 律、宮本 俊之
	目の発生・多様性と障がいからの回復	北岡 隆、隈上 武志、上松 聖典、築城 英子
ヒトのからだを探る テーマ責任者： 弦本 敏行	形態を科学する	田中 克己、矢野 浩規、大石 正雄、今村 禎伸
	からだの中の反逆者・がん細胞との闘い	金高 賢悟、江口 晋、高槻 光寿、山之内 孝彰
	Visible Human Body	弦本 敏行、岡本 圭史、佐伯 和信、岡本 圭史

【全学モジュールⅡ科目】

モジュールテーマ名	授業科目名	担当教員
健やかに生きる テーマ責任者： 前村 浩二	環境因子による肺や腎臓の障害を考える	迎 寛、尾長谷 靖、坂本 憲徳、河野 哲也
	生活習慣病を予防する	前村 浩二、中尾 一彦、尾崎 誠、阿比留 教生
	日本の医療制度と健康問題について考える	安部 恵代、青柳 潔、有馬 和彦、西村 貴孝
生命を多次元で哲学する テーマ責任者： 小路 武彦	細胞生命を哲学する	小路 武彦、由井 克之、田中 邦彦、林 日出喜
	個体生命を哲学する	永田 康浩、松坂 雄亮
	社会生命を哲学する	梅原 敬弘
コミュニケーションの生物学 テーマ責任者： 篠原 一之	男と女の脳	篠原 一之、土居 裕和、菊野 雄一郎、澤野 恵梨香
	脳の成り立ちと働き	有賀 純、中川 慎介、巽 理恵、畑山 実
	反平和学 ～人はなぜ不幸になるのか	黒滝 直弘
脳と心 テーマ責任者： 森 望	脳科学から探る人間性	森 望
	映画から学ぶライフサイクルとメンタルヘルス	小澤 寛樹
	視覚の発生、ロービジョンケア	北岡 隆

B. 教養教育関連委員会の医学部医学科委員

委員会	委員
教養教育実施専門部会	池松 和哉
モジュール科目小委員会	弦本 敏行
評価・FD教育改善専門部会	安武 亨

表2 平成30年度 1～6年次授業科目(系)責任者

学年	授業科目	責任者
1 年 次	医と社会Ⅰ	安武 亨
	人体構造系Ⅰ	弦本 敏行
	生体分子系	伊藤 敬
	発生・組織系	小路 武彦
	内臓機能・体液系Ⅰ	蒔田 直昌
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
	地域医療ゼミ	前田 隆浩 調 漸
	熱帯医学ゼミ	有吉 紅也
	国際医療ゼミ	高村 昇
	医学ゼミ	柳原 克紀
医学英語	Luc Loosveldt	
	Jim Briganti	
2 年 次	医と社会Ⅱ	安武 亨
	神経・感覚器系	森 望
	人体構造系Ⅱ	弦本 敏行
	動物性機能系	篠原 一之
	内臓機能・体液系Ⅱ	蒔田 直昌
	分子遺伝系	吉浦 孝一郎
	環境因子系	工藤 崇
	感染系	西田 教行
	免疫系	由井 克之
	腫瘍系	池田 裕明
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
	国際医療英語	Luc Loosveldt
		Jim Briganti
	医学ゼミ	柳原 克紀
医学英語	Luc Loosveldt	
	Jim Briganti	
3 年 次	医と社会Ⅲ	安武 亨
	病理総論系	下川 功
	薬理系	有賀 純
	放射線医学	上谷 雅孝
	基礎医学TBL	西田 教行
	循環器系	前村 浩二
	血液・リンパ系	宮崎 泰司
	呼吸器系	迎 寛
	腎泌尿器系	酒井 英樹
	感染症系	泉川 公一
	運動系	尾崎 誠
	生殖系	
	臨床検査医学	柳原 克紀
	内分泌・代謝・栄養系	川上 純
	消化器系	中尾 一彦
	プレリサーチセミナー	柳原 克紀
	リサーチセミナー	蒔田 直昌
	国際医療英語	Luc Loosveldt
		Jim Briganti
医学ゼミ	柳原 克紀	
医学英語	Luc Loosveldt	
	Jim Briganti	

学年	授業科目	責任者
4 年 次	医と社会Ⅳ	安武 亨
	人体構造系Ⅲ	弦本 敏行
	薬理系Ⅲ	有賀 純
	病理各論系Ⅲ	福岡 順也
	精神系	小澤 寛樹
	脳・神経系	川上 純
	皮膚系	竹中 基
	運動系	尾崎 誠
	視覚系	北岡 隆
	耳鼻咽喉口腔系	金子 賢一
	衛生学・分子疫学	中込 治
	公衆衛生学	青柳 潔
	外科治療学	江口 晋
	法医学系	池松 和哉
	診断学	前田 隆浩
	臨床検査医学	柳原 克紀
	臨床疫学・医療情報学	本多 正幸
	臨床薬理学	佐々木 均
	東洋医学	有賀 純
	総合病理学	中島 正洋
臨床推論PBL	柳原 克紀	
臨床実習	上谷 雅孝	
医学ゼミ	柳原 克紀	
アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀	
医学英語	Luc Loosveldt	
	Jim Briganti	
5 年 次	臨床実習	上谷 雅孝
	高次臨床実習	上谷 雅孝
	アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀
6 年 次	高次臨床実習	上谷 雅孝
	アドバンストリサーチセミナー	柳原 克紀
臨床総括講義	柳原 克紀	

表3 平成30年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
神経形態学（解剖1）	松本 弦 村井 清人 森 望	選択的オートファジー促進剤の作用機構の解析	2
神経形態学（解剖1）	松本 弦 村井 清人 森 望	タウタンパク質の凝集性促進変異体の単離	2
神経形態学（解剖1）	村井 清人 松本 弦 森 望	REST4タンパク質の翻訳修飾による機能制御機構	1
肉眼解剖学（解剖2）	弦本 敏行 岡本 圭史 佐伯 和信 高村 敬子	各種疾患に関する臨床解剖学的研究	2
肉眼解剖学（解剖2）	弦本 敏行	運動器系疾患の解剖学	2
組織解剖学（解剖3）	小路 武彦 柴田 恭明	ミャンマー若年性肝がんのエピジェネティック変異解析	1
組織解剖学（解剖3）	柴田 恭明 小路 武彦	FGFR2IIIbをマーカーとしたマウス細胆管肝前駆細胞から肝細胞への分化過程の同定	2
分子生理学（生理1）	蒔田 直昌 石川 泰輔	致死性不整脈の分子病態に関する研究	1
分子生理学（生理1）	辻 幸臣	心室細動の実験モデルを用いた基礎的研究	2
神経生理学（生理2）	篠原 一之	皮膚細胞のコラーゲン増加をもたらす香り成分の研究	1
神経生理学（生理2）	土居 裕和	「個性」を生み出す生物学的基盤	2
神経生理学（生理2）	樽見 航	ヒトフェロモン候補分子の作用機序の解明	1
生化学	中川 武弥 伊藤 敬	試験管内遺伝子転写系を用いたリプログラミング因子Sox2TBP複合体によるクロマチンリモデリングと遺伝子転写解析	1
生化学	米田 光弘 伊藤 敬	MLL複合体を標的とした抗がん剤スクリーニングの確立	1
生化学	林田 敬 伊藤 敬	BRGクロマチンリモデリン複合体を標的とした抗がん剤スクリーニングの確立	1
生化学	東 美樹 中川 武弥 伊藤 敬	メディエーター(MED)複合体、MLL複合体、BRGクロマチンリモデリン複合体を標的としたターゲットシークエンスの確立	1
薬理学	中川 慎介 有賀 純	脳血管周皮細胞(ペリサイト)の機能解析	1
薬理学	松永 隼人 有賀 純	シナプス膜の分子装置と高次脳機能障害	1
薬理学	畑山 実 有賀 純	モノアミン神経の発達制御とその破綻がもたらす病態	1
薬理学	有賀 純 中川 慎介 畑山 実 松永 隼人	発達障害モデルマウスの解析	2
探索病理学（病理1）	森 亮一	炎症・組織修復における microRNA の機能解析	1
探索病理学（病理1）	林 洋子	肝癌の発生におけるFoxO転写因子の役割	1
探索病理学（病理1）	朴 盛凌	Neuropeptide Y (NPY)の脂肪代謝調節メカニズムにおけるマクロファージの役割分析	1

海外派遣実習生

派遣プログラム	派遣国名	派遣先	実習学生数	
高次臨床実習	シンガポール	シンガポール国立大学	3	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	ドイツ	ビュルツブルク大学	6	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	韓国	プサン大学校	2	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	韓国	慶尚大学校	3	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	アメリカ	ミシガン州立大学	3	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	オランダ	ライデン大学	1	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	タイ	チュラロンコン大学	1	※交流協定による海外派遣
高次臨床実習	フランス	アンジェ大学	2	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	オランダ	ライデン大学	1	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	ドイツ	ビュルツブルク大学	3	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	ベラルーシ	ベラルーシ医科大学・ゴメリ医科大学	1	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	韓国	プサン大学校	1	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	韓国	ハーリム大学校	1	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	フランス	アンジェ大学	2	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	フランス	ナント大学	1	※交流協定による海外派遣
リサーチセミナー	イタリア	トレント大学	2	※交流協定による海外派遣
ベトナム研修（国際枠）	ベトナム	長崎大学ベトナム拠点	3	

合計 36

表4 A 平成30年度長崎大学医学部臨床実習協定締結施設

No.	施設名	協定年月日
1	長崎みなとメディカルセンター(旧:長崎市立市民病院)	平成8年5月31日
2	日本赤十字社長崎原爆病院	平成8年5月31日
3	長崎市立病院成人病センター	平成8年6月1日
4	長崎県病院企業団長崎県精神医療センター	平成8年6月1日
5	社会福祉法人長崎市障害福祉センター	平成8年6月1日
6	財団法人長崎県健康事業団(旧:財団法人長崎県総合保健センター)	平成8年6月1日
7	社会医療法人春回会長崎北病院	平成10年5月20日
8	江上耳鼻咽喉科・めまいクリニック(旧:江上耳鼻咽喉科医院)	平成11年5月31日
9	医療法人祥仁会西諫早病院	平成12年6月19日
10	社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院	平成12年7月21日
11	長崎市中央保健センター	平成12年11月24日
12	医療法人友愛会介護老人保健施設にしきの里	平成12年11月24日
13	医療法人清潮会介護老人保健施設みどりの里	平成12年11月24日
14	日本海員掖済会長崎病院	平成13年5月11日
15	阿南皮膚科医院(→閉院(教室確認))	平成13年5月11日
16	医療法人北辰会久保皮膚科医院(→閉院(教室確認))	平成13年5月11日
17	独立行政法人国立病院機構長崎病院(旧:国立療養所長崎病院)	平成13年5月11日
18	ゆきなりクリニック	平成13年7月10日
19	医療法人 厚生会虹が丘病院	平成13年8月7日
20	医療法人昌生会出口病院	平成14年7月18日
21	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	平成15年6月12日
22	地方独立行政法人 佐世保市総合医療センター(旧:佐世保市立総合病院)	平成16年8月1日
23	長崎県五島保健所	平成16年8月1日
24	五島市国民健康保険三井楽町診療所	平成16年8月1日
25	五島市国民健康保険玉之浦診療所	平成16年8月1日
26	岐宿町岐宿診療所	平成16年8月1日
27	山内診療所	平成16年8月1日
28	長崎県五島中央病院	平成16年8月1日
29	長崎県富江病院	平成16年8月1日
30	長崎県五島中央病院附属診療所 奈留医療センター(旧:長崎県奈留病院)	平成16年8月1日
31	五島市健康政策課	平成16年9月1日
32	社会福祉法人五島市社会福祉協議会	平成16年9月1日
33	長崎県上五島病院	平成17年9月1日
34	小値賀町国民健康保険診療所	平成17年9月1日
35	長崎県上五島保健所(旧:離島医療圏組合上五島病院)	平成17年9月1日
36	新上五島町健康保険課(旧:健康推進課)	平成17年9月1日
37	社会福祉法人新上五島町社会福祉協議会	平成17年9月1日
38	長崎県対馬いづはら病院	平成19年7月2日
39	長崎県中対馬病院(平成27年5月17日~長崎県対馬病院に統合)	平成19年7月2日
40	長崎県上対馬病院	平成19年7月2日
41	豊玉診療所	平成19年7月2日
42	長崎県対馬保健所	平成19年7月2日
43	社会福祉法人幸生会特別養護老人ホームわたづみ	平成19年7月2日
44	社団法人全国社会保険協会連合会健康保険諫早総合病院	平成19年7月2日
45	医療法人萌悠会 耳鼻咽喉科 神田E・N・T医院	平成19年7月2日
46	重症心身障害児施設みさかえの園むつみの家	平成19年7月2日
47	東京都監察医務院	平成20年5月14日
48	宮崎内科医院	平成20年5月14日
49	医療法人衆和会 長崎腎病院(平成23年7月 桜町クリニックと統合)	平成20年5月14日

No.	施設名	協定年月日
50	宗教法人聖フランシスコ病院会聖フランシスコ病院	平成20年5月14日
51	医療法人光善会 長崎百合野病院	平成20年5月14日
52	すがさきクリニック	平成20年5月14日
53	みちクリニック	平成20年5月14日
54	医療法人財団友朋会 嬉野温泉病院	平成20年5月14日
55	三菱重工業(株)長崎造船所病院	平成20年5月14日
56	医療法人栄寿会真珠園療養所	平成20年5月14日
57	三島眼科医院	平成20年5月28日
58	思案橋ツダ眼科	平成20年5月28日
59	和仁会病院	平成21年4月8日
60	地方独立行政法人 北松中央病院	平成21年4月8日
61	ホーム・ホスピス中尾クリニック	平成21年4月22日
62	県央地域広域市町村圏組合	平成21年9月18日
63	特定医療法人三佼会 宮崎病院	平成22年4月14日
64	特別医療法人春回会 井上病院	平成22年4月14日
65	山根内科胃腸科医院	平成22年4月14日
66	医療法人谷川放射線科胃腸科医院	平成22年4月14日
67	医療法人社団健昌会 新里クリニック浦上(旧:医療法人社団健昌会 新里ネフロクリニック)	平成22年4月14日
68	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 済生会長崎病院	平成22年4月14日
69	医療法人清潮会 三和中央病院	平成22年4月14日
70	東京慈恵医科大学	平成22年4月14日
71	長崎県立こども医療福祉センター	平成26年4月1日
72	独立行政法人労働者健康福祉機構長崎労災病院	平成23年5月1日
73	長崎県島原病院	平成23年5月1日
74	医療法人みどりが丘クリニック	平成25年6月5日
75	聖マリア病院	平成25年6月5日
76	長崎市消防局 中央署及び北署	平成20年5月14日
77	長崎原爆諫早病院	平成26年4月1日
78	きのしたこどもクリニック	平成26年4月1日
79	医療法人衆和会桜町クリニック (長崎腎病院に統合)	平成20年3月31日
80	国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院	平成27年4月1日
81	長崎宝在宅医療クリニック	平成27年4月1日
82	特定医療法人 玄州会	平成27年4月1日
83	長崎県壱岐振興局保健部(壱岐保健所)	平成27年4月1日
84	壱岐市役所 保健環境部 健康保険課	平成27年4月1日
85	井上内科小児科医院	平成27年4月1日
86	社会福祉法人 さゆり会 特別養護老人ホーム 只狩荘	平成27年4月1日
87	社会福祉法人 秀峯会 介護老人保健施設 つくしの里	平成27年4月1日
88	長崎県壱岐市民病院 ※H27. 4. 1より「長崎県壱岐病院」に改称	平成27年4月1日
89	長崎市内地域包括支援センター(19箇所)	平成28年1月8日
90	医療法人共生会 訪問看護ステーション ゆうあい	平成28年1月1日
91	セントケア訪問看護ステーション 長崎みなみ	平成28年1月1日
92	訪問看護ステーションそよかぜ	平成28年1月1日
93	特定医療法人昭和会 昭和会訪問看護ステーション	平成28年1月1日
94	医療法人社団春秋会 訪問看護ステーション太陽	平成28年1月1日
95	長崎南訪問看護ステーション“21”	平成28年1月1日
96	医療法人友愛会 訪問看護ステーション あんこう	平成28年1月1日
97	長崎市医師会保健福祉センター 訪問看護事業所	平成28年1月1日
98	長崎県看護協会 訪問看護ステーションYOU	平成28年1月1日
99	宗教法人聖フランシスコ病院会 フランシスコ訪問看護ステーション	平成28年1月1日

No.	施設名	協定年月日
100	有限会社 訪問看護ステーション かいごの花みずき	平成28年1月1日
101	合同会社訪問看護ステーションさくら	平成28年1月1日
102	合同会社 訪問看護ステーション あさひ	平成28年1月1日
103	社会福祉法人平成会 訪問看護ステーション 横尾	平成28年1月1日
104	医療法人厚生会訪問看護ステーション すみ香	平成28年1月1日
105	合同会社 訪問看護ステーション鳴見	平成28年1月1日
106	社会医療法人春回会 訪問看護ステーション“ひまわり”	平成28年1月1日
107	医療法人緑風会 訪問看護ステーションあじさい	平成28年1月1日
108	医療法人光善会 訪問看護ステーション「コスモス」	平成28年1月1日
109	医療法人常葉会 訪問看護ステーションながよ	平成28年1月1日
110	訪問看護ステーション ほっと	平成28年1月1日
111	訪問看護ステーション きんかい	平成28年1月1日
112	独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター	平成28年4月1日
113	社会医療法人健友会 上戸町病院	平成29年1月1日
114	市立大村市民病院	平成29年1月1日
115	訪問看護ステーション ゆめライフ	平成29年1月1日
116	訪問看護在宅療養ステーション 桃花竿浦	平成29年1月1日
117	リハビリ訪問看護ステーション クローバー	平成29年1月1日
118	訪問看護ステーション あぶんぜ	平成29年4月1日
119	株式会社 福江薬局	平成29年4月1日
120	長崎県対馬病院	平成29年4月1日
121	いづはら診療所	平成29年4月1日
122	NPO法人 地域活動支援センター きらり	平成29年4月1日
123	対馬市社会福祉協議会	平成29年4月1日
124	医療法人 あそう眼科	平成29年4月1日
125	宮崎耳鼻咽喉科医院	平成29年4月1日
126	吉見耳鼻咽喉科	平成29年4月1日
127	重野耳鼻咽喉科医院・めまい難聴クリニック	平成29年4月1日
128	共立耳鼻咽喉科	平成29年4月1日
129	浜崎耳鼻咽喉科クリニック	平成29年4月1日
130	わたなべ耳鼻咽喉科医院 ※大村市	平成29年4月1日
131	五島市	平成29年4月1日
132	有限会社 あい調剤薬局	平成29年4月1日
133	医療法人社団杏風会 耳鼻咽喉科原口クリニック	平成29年10月1日
134	医療法人 たしろ耳鼻咽喉科	平成29年10月1日
135	高村耳鼻咽喉科・アレルギー科	平成29年10月1日
136	宗耳鼻咽喉科クリニック	平成29年10月1日
137	小島耳鼻咽喉科クリニック	平成29年11月1日
138	佐々町国民健康保険診療所	平成29年12月1日
139	佐々町役場	平成29年12月1日
140	佐世保こども・女性・障害者支援センター	平成29年12月1日
141	わたなべ耳鼻咽喉科クリニック ※長崎市	平成30年3月1日
142	徳島大学医学部	平成30年4月1日
143	かせ耳鼻咽喉科	平成30年6月1日
144	長崎リハビリテーション病院	平成30年6月1日
145	耀光リハビリテーション病院	平成30年6月1日
146	東京都立松沢病院	平成30年11月1日

表3 平成30年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
病態病理学（病理2）	福岡 順也 財前 圭晃	人工知能を病理診断に応用する前向き研究	1
病態病理学（病理2）	新野 大介	HTLV-1キャリアとATL患者の血漿を用いたマイクロRNAの網羅的解析	1
病態病理学（病理2）	新野 大介	中枢神経原発悪性リンパ腫の解析	1
病態病理学（病理2）	尹 漢勝	乳癌におけるバイオマーカーの生検標本と手術標本との比較検討	2
病態病理学（病理2）	黒田 揮志夫	病理画像診断AIツールの開発	1
病態病理学（病理2）	赤澤 裕子	移植後脂肪肝における幹細胞の遺伝子不安定	1
免疫学	井上 信一 由井 克之	マラリア原虫感染における宿主T細胞の免疫記憶と疲弊に関する研究	4
公衆衛生学	有馬 和彦 青柳 潔	骨量を規定する遺伝要因と環境要因	1
公衆衛生学	西村 貴孝 青柳 潔	性ホルモンと骨量の関連について	1
公衆衛生学	富田 義人 青柳 潔	主観的歩行速度と骨量の関連	1
公衆衛生学	安部 恵代	骨粗鬆症、骨折リスクの評価	1
法医学	池松 和哉	法医学実務におけるAIの活用	2
法医学	池松 和哉	長期ストレス負荷による生体反応の検索	1
法医学	梅原 敬弘	凍死の死因究明に資する恒常性維持関連遺伝子の同定	1
原研病理	三浦 史郎	長崎原爆被爆者腫瘍バンクと核酸抽出・分注保存	1
原研病理	Zhanna Mussazhanova 中島 正洋	甲状腺がんの病理組織像とを予後関連分子異常	1
原研病理	松山 睦美 七條 和子	ラット甲状腺の放射線感受性におけるオートファジーの影響	1
原研病理	松田 勝也 中島 正洋	放射線誘発甲状腺癌での放射線被曝分子マーカーの確立	1
原研病理	松田 勝也 中島 正洋	甲状腺濾胞性腫瘍の術前診断におけるDNA損傷応答分子53BP1発現の意義	1
原研放射	西 弘大	放射性医薬品による生体機能の可視化	2
原研幹細胞 （旧原研生化）	川端 剛	オートファジーとDNA複製ストレス耐性	1
原研幹細胞 （旧原研生化）	後藤 信治	がん幹細胞マーカーCD133陽性がん細胞の糖代謝の特性	1
原研幹細胞 （旧原研生化）	李 桃生	静圧が組織（幹）細胞に与える影響	1
原研幹細胞 （旧原研生化）	川端 剛	オートファジーとゲノム安定性の維持	1
原研国際 （旧原研疫学）	折田 真紀子	福島県川内村における食菌類の放射性セシウム濃度測定	1
原研国際 （旧原研疫学）	折田 真紀子	福島県富岡町における住民の放射性リスク認知評価	1
原研国際 （旧原研疫学）	平良 文亨	福島県富岡町等における外部被ばく線量評価	1

表3 平成30年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
原研国際 (旧原研疫学)	平良 文亨	福島県富岡町における内部被ばく線量評価	1
原研国際 (旧原研疫学)	平良文亨	福島県富岡町・川内村の山道における外部被ばく線量評価 (里山再生・森林の高度管理)	1
原研遺伝	吉浦 孝一郎	ロングリードシーケンサーによる多型検出	1
原研遺伝	木下 晃	培養細胞のゲノム編	2
原研遺伝	三嶋 博之	希少疾患ウェブツールの開発	1
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木啓司	放射線被ばく組織における組織反応の研究	2
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木啓司	放射線被ばくと生活習慣との相互作用の研究	2
原研医療 (旧原研細胞)	鈴木啓司	放射線治療によるがん細胞死増強の基盤的研究	2
原研医療 (旧原研細胞)	光武範吏	甲状腺癌の分子マーカーについての研究	2
原研分子	嶋村 美加 永山 雄二	抗酸性腫瘍細胞株XTC.UC1細胞のミトコンドリア機能の評価	2
原研分子	蔵重 智美 永山 雄二	甲状腺特異的オートファジー不全マウスにおける組織学的解析	2
腫瘍医学	池田 裕明 安井 潔	遺伝子改変細胞を用いたがんに対する新規細胞療法の開発	2
腫瘍医学	池田 裕明 村岡 大輔	腫瘍局所環境に注目した、難治性腫瘍に対する治療法の開発	2
微生物学 (感染分子(細菌))	石橋 大輔	プリオンの分子病態解明	1
微生物学 (感染分子(細菌))	中垣 岳大	正常型プリオンタンパク発現機構の解明	1
微生物学 (感染分子(細菌))	中垣 岳大	異常型プリオンタンパクの分解を誘導する薬剤の探索	1
微生物学 (感染分子(細菌))	田口 謙	アミロイドのストレイン多様性の分子機構	2
微生物学 (感染分子(細菌))	久保 嘉直	インターフェロン γ の HIV 感染抑制機構の解明	1
微生物学 (感染分子(細菌))	渡邊 健	抗インフルエンザ薬開発候補化合物の抗インフルエンザウイルス活性評価	1
病態解析・診断学	森永芳智	細菌叢は病原体の侵入にprotectiveか?	1
フロンティア生命科学	益谷 美都子	抗がん剤のバイオマーカーの研究	1
フロンティア生命科学	益谷 美都子	がんのホウ素中性子捕捉療法(BNCT)のバイオマーカーの研究	1
分子標的医学研究 センター	田中 義正	新規がん免疫治療法の開発	2
分子標的医学研究 センター	大滝 大樹	計算機を用いたタンパク質-薬物間の相互作用解析	1
分子標的医学研究 センター	水田 賢志	抗ウイルス剤の合成に基づく実践的創薬研究	1
分子標的医学研究 センター	ゴウチャン・ プニータ 金子 美穂	ロタウイルスの進化メカニズムの解析	2
先導 放射線生物・防護学分野	山内 基弘	放射線被ばくによってできるDNA損傷の修復メカニズムの研究	1

表3 平成30年度 後期「リサーチセミナー」

教室名	指導教員	研究テーマ	受講学生数
先導 放射線生物・防護学分野	松田 尚樹 福田 直子 (原研放射)	医療における放射線防護教育のための放射線モニタリングリファレンスの作成	1
先導 ゲノム機能解析分野	木住野 達也	遺伝子改変マウスの解析	1
熱研 ウイルス学	森田公一 ミヤ ミヤツ ヌグエ トン	デング熱の病原性に関する研究	1
熱研 ウイルス学	モイ・メンリン	アジアで流行しているデングウイルス遺伝子の多様性解析	1
熱研 ウイルス学	井上真吾	フラビウイルス感染症の診断法の開発	1
熱研 新興感染症学	安田二郎 吉川禄助	高病原性ブニヤウイルスの病原性解析	1
熱研 新興感染症学	安田 二郎 浦田 秀造	抗リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス (LCMV)化合物の同定及びその作用機序解析	1
熱研 原虫学	麻田 正仁	マラリア原虫赤血球寄生メカニズムの解明	1
熱研 免疫遺伝学	Kenji Hirayama, Nguyen Tien Huy (TMGH), Shusaku	Current research on vaccination for novovirus in human	1
熱研 生態疫学	金子 聡	途上国における母子保健	1
熱研 国際保健学	山本 太郎 (中野 政之)	高地居住者の健康に影響をもたらす遺伝子多型の探索	1
熱研 小児感染症学	橋爪 真弘 マダニヤジ・ リナ	地球温暖化による死亡への影響	1
ライデン大学	Niels Harlaar	Exploring the Cardiac Extracellular Matrix: Isolation, Characterization and Application	1
ビュルツブルク大学	Yuichiro Ueda	Culture and cardiac differentiation of 2D/3D human iPSCs	1
ビュルツブルク大学	Carsten Scheller	The glycosylation pattern of different HIV envelope proteins	1
ビュルツブルク大学	Pingkalai R. Senthilan	Analysis of Arrhythmic Clock Mutant 7110 in D. Melanogaster	1
ベラルーシ医科大学	高村 昇	チェルノブイリ周辺地区における放射線健康リスク認知	1
プサン大学校	Koanhoi Kim	Vascular disease by HMGB 1	1
ハーリム大学	Yong Sum Kim	The expression level of ecotropic murine leukemia virus in SAM mice cerebellums	1
アンジェ大学	AUDREY ROUSSEAU, BLANDINE BOISSELIER	Anti-p53 immunohistochemistry as a surrogate marker of TP53 gene mutation	1
アンジェ大学	AUDREY ROUSSEAU	What is the best cut-off value for anti-p53 immunohistochemistry in glioblastoma?	1
トレント大学	Gianluca Esposito, Ilaria	Association between genes and level of severe of ASD's symptoms	1
トレント大学	Gianluca Esposito, Ilalia	review drug abuse fatherhood	1
ナント大学	Jean-Jacques Schott	Post GWAS annotation to translate genetic findings into molecular mechanisms of Brugada syndrome	1